

会派名 新政会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通 

区分	事由	費目金額						小計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費 平成30年7月12日～13日 長野市ホクト文化ホール（平成30年度自治振興セミナー）、松本市役所（松本市行政調査）旅費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	436,360	
		交通費		旅費	436,360	自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		振込料		
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		広報誌（紙）		報告書等印刷費		
		送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
		振込料						
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
		振込料						
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞（日刊紙）購読料		
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
		印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等（按分）		郵便料等		自動車燃料費（按分）		
		その他						
使用者	共通 	支出年月日	H30年 7月 4日	現金出納簿 支出番号	//	合計	436,360 円	

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 11

会派会長様

申請代表者氏名 橋本幸一



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	436,360円（1人あたり57,400円、石川義和議員のみ34,560円）	
	※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	平成30年7月12日 平成30年度自治振興セミナー 参加の為	
	平成30年7月13日 松本市行政調査 の為	
用務先	平成30年7月12日 長野市 ホクト文化ホール	
	平成30年7月13日 松本市役所	
内容	平成30年7月12日 「地方行政の課題」 講師：前総務事務次官 佐藤文俊氏	
	「未来の年表 人口減少日本で起きること」 講師：産経新聞社論説委員 河合雅司氏	
	「人口減少時代の地域づくりと自治体間連携」 講師：首都大学東京法学部教授 大杉覚氏	
	平成30年7月13日 「議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）」	
期間	H30年 7月 12日 ～ H30年 7月 13日（1泊2日）	
行程	別紙行政調査行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・橋本幸一（代表者）	・栗原晃
	・遠藤敏郎	・折笠正
	・廣田耕一	・會田一男
	・石川義和	・渡部龍治
特記事項	石川義和議員については自治振興セミナーへの参加のみの行程です。	

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	H30年 7月 4日
			許可日	H30年 7月 4日
			支出日	H30年 7月 4日

上記金額を受領しました。

H30年 7月 4日

申請代表者氏名

橋本幸一



平成30年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年7月12日 (木)

平成30年度自治振興セミナー



【石川義和議員行程】



□ 平成30年7月13日 (金)

松本市：議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）



2 人員 8人

橋本 幸一 議員 (会長)
 石川 義和 議員
 廣田 耕一 議員
 栗原 晃 議員
 會田 一男 議員
 渡部 龍治 議員
 折笠 正 議員
 遠藤 敏郎 議員 (副議長)

3 調査内容

- 平成30年7月12日 (木)
 - 「地方行財政の課題」 13:10~14:20
 講師：前総務事務次官 佐藤文俊氏
 - 「未来の年表 人口減少日本で起きること」 14:30~15:40
 講師：産経新聞社論説委員 河合雅司氏
 - 「人口減少時代の地域づくりと自治体間連携」 15:50~17:00
 講師：首都大学東京法学部教授 大杉覚氏
- 平成30年7月13日 (金)
 - 松本市行政調査 9:30~11:30
 - ・議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）

4 事務局連絡先・会場

○一般社団法人 地方自治研究機構
 (担当) 法制執務部主任研究員 XXXXXXXXXX 様
 〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-16
 太陽銀座ビル2階
 TEL 03-5148-0662
 FAX 03-5148-0664

○松本市行政調査
 松本市議会事務局 (担当：ナガタ様)
 〒390-8620
 長野県松本市丸の内3番7号 (東庁舎3階)
 電話0263-34-3210

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 新政会

参加議員 : 橋本 幸一、廣田 耕一、栗原 晃、會田 一男、渡部 龍治、折笠 正、遠藤 敏郎

日 程 : 平成30年7月12日 (木)、7月13日 (金)

行 先 : ホクト文化ホール (長野県県民文化会館) 小ホール (長野県長野市若里1-1-3)
松本市 (長野県松本市丸の内3番7号)

7月12日	郡	大	長	松					
	山	宮	野	本					
	(新幹線)	(新幹線)	(特急)						
	196.4	192.1	62.7						
	駅	駅	駅	駅					
運賃	7,340								7,340
急行料金	2,590	2,590	1,700						6,880
グリーン	2,060	2,060							4,120
実費									0

7月13日	松	長	大	郡					
	本	野	宮	山					
	(特急)	(新幹線)	(新幹線)						
	62.7	192.1	196.4						
	駅	駅	駅	駅					
運賃	7,340								7,340
急行料金	330	2,590	2,590						5,510
グリーン	1,290	2,060	2,060						5,410
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

交通費	36,600		36,600	
日 当	3,000 ×	2日 =	6,000	
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800	
合 計			57,400円	× 7人 = <u>401,800円</u>

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 新政会

参加議員 : 石川 義和

日 程 : 平成30年7月12日 (木)

行 先 : ホクト文化ホール (長野県県民文化会館) 小ホール (長野県長野市若里1-1-3)

7月12日	郡	大	長	大	郡				
	山	宮	野	宮	山				
	(新幹線)	(新幹線)	(新幹線)	(新幹線)	(新幹線)				
	196.4	192.1	192.1	196.4					
	駅	駅	駅	駅	駅				
運賃	6,480		6,480						12,960
急行料金	2,590	2,590	2,590	2,590					10,360
グリーン	2,060	2,060	2,060	2,060					8,240
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

交通費	31,560		31,560	
日当	3,000 ×	1日 =	3,000	
宿泊費	14,800 ×	泊 =	0	
合計			34,560円	× 1人 = <u>34,560円</u>

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 //

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・橋本幸一（代表者）		・栗原晃	
・遠藤敏郎		・折笠正	
・廣田耕一		・會田一男	
・石川義和		・渡部龍治	

記

期 間	H30年 7月 12日 ～ H30年 7月 13日（1泊2日）				
目 的	平成30年7月12日 平成30年度自治振興セミナー参加の為				
	平成30年7月13日 松本市行政調査				
用 務 先	平成30年7月12日 長野市 ホクト文化ホール				
	平成30年7月13日 松本市役所				
行 程	別紙行程表のとおり				
内容及び成果	平成30年7月12日 「地方行財政の課題」 講師：前総務事務次官 佐藤文俊氏 「未来の年表 人口減少日本で起きること」 講師：産経新聞社論説委員 河合雅司氏 「人口減少時代の地域づくりと自治体間連携」 講師：首都大学東京法学部教授 大杉覚氏				
	平成30年7月13日 松本市行政調査 議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）				
旅 費 精 算	受領額	436,360円	精算額	436,360円	返納額
					0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	H30年 7月 17日
				確 認 日	H30年 7月 17日
				精 算 日	H30年 7月 17日

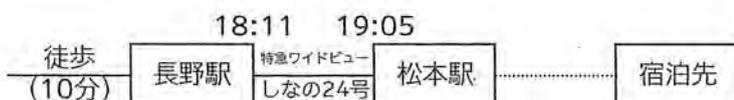
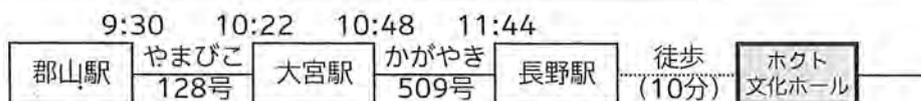
※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成30年度 新政会 行政調査行程表

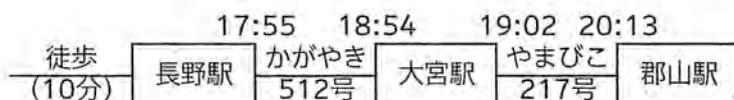
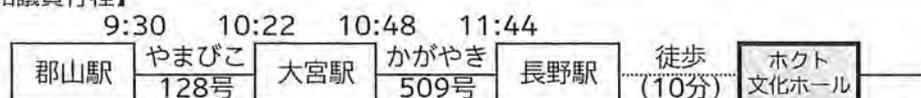
1 行程

□ 平成30年7月12日 (木)

平成30年度自治振興セミナー

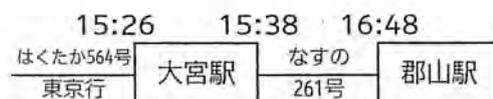
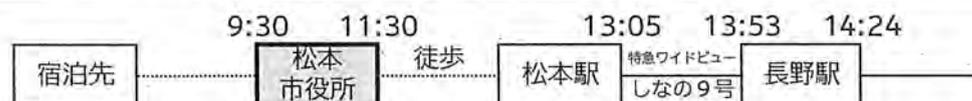


【石川義和議員行程】



□ 平成30年7月13日 (金)

松本市：議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）



2 人員 8人

橋本 幸一 議員 (会長)
 石川 義和 議員
 廣田 耕一 議員
 栗原 晃 議員
 會田 一男 議員
 渡部 龍治 議員
 折笠 正 議員
 遠藤 敏郎 議員 (副議長)

3 調査内容

- 平成30年7月12日 (木)
 「地方行財政の課題」 13:10~14:20
 講師：前総務事務次官 佐藤文俊氏
 「未来の年表 人口減少日本で起きること」 14:30~15:40
 講師：産経新聞社論説委員 河合雅司氏
 「人口減少時代の地域づくりと自治体間連携」 15:50~17:00
 講師：首都大学東京法学部教授 大杉覚氏
- 平成30年7月13日 (金)
 松本市行政調査 9:30~11:30
 ・議会改革の取り組みについて（政策討論会等について）

4 事務局連絡先・会場

○一般社団法人 地方自治研究機構
 (担当) 法制執務部主任研究員 様
 〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-16
 太陽銀座ビル2階
 TEL 03-5148-0662
 FAX 03-5148-0664

○松本市行政調査
 松本市議会事務局 (担当：ナガタ様)
 〒390-8620
 長野県松本市丸の内3番7号 (東庁舎3階)
 電話0263-34-3210

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 新政会

参加議員 : 橋本 幸一、廣田 耕一、栗原 晃、會田 一男、渡部 龍治、折笠 正、遠藤 敏郎

日 程 : 平成30年7月12日(木)、7月13日(金)

行 先 : ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)小ホール(長野県長野市若里1-1-3)

松本市(長野県松本市丸の内3番7号)

7月12日	郡 山 駅	(新幹線) 196.4	大 宮 駅	(新幹線) 192.1	長 野 駅	(特急) 62.7	松 本 駅											
運賃	7,340														7,340			
急行料金	2,590		2,590		1,700													6,880
グリーン	2,060		2,060															4,120
実費															0			

7月13日	松 本 駅	(特急) 62.7	長 野 駅	(新幹線) 192.1	大 宮 駅	(新幹線) 196.4	郡 山 駅											
運賃	7,340														7,340			
急行料金	330		2,590		2,590													5,510
グリーン	1,290		2,060		2,060													5,410
実費															0			

運賃															0			
急行料金															0			
グリーン															0			
実費															0			

交通費 36,600 36,600
 日当 3,000 × 2日 = 6,000
 宿泊費 14,800 × 1泊 = 14,800
 合計 57,400円

× 7人 = 401,800円

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 新政会

参加議員 : 石川 義和

日 程 : 平成30年7月12日 (木)

行 先 : ホクト文化ホール (長野県県民文化会館) 小ホール (長野県長野市若里1-1-3)

7月12日	郡	大	長	大	郡			
	山	(新幹線)	(新幹線)	(新幹線)	(新幹線)			
	196.4	宮	192.1	野	192.1	宮	196.4	山
	駅	駅	駅	駅	駅			
運 賃	6,480		6,480					12,960
急行料金	2,590	2,590	2,590	2,590				10,360
グリーン	2,060	2,060	2,060	2,060				8,240
実 費								0

運 賃								0
急行料金								0
グリーン								0
実 費								0

運 賃								0
急行料金								0
グリーン								0
実 費								0

交通費	31,560		31,560	
日 当	3,000 ×	1日 =	3,000	
宿泊費	14,800 ×	泊 =	0	
合 計			34,560円	× 1人 = <u>34,560円</u>

平成 30 年度 自治振興セミナー

日時：平成 30 年 7 月 12 日 13:00~17:00

場所：長野県長野市 ホクト文化ホール

セミナー（3） 未来の年表 人口減少日本で起きること （14:30~15:40）

講師：ジャーナリスト 河合雅司

報告者：會田一男

平成 30 年 1 月 1 日現在の日本の人口は前年より約 37 万人減少している、人口減少による下り坂の時代に突入していると考えてよい。

現在の人口構成から

2020 年 女性の半数が 50 歳を超える

2024 年 全国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上

2027 年 輸血用血液が不足

2033 年 3 戸に 1 戸が空き家に

2039 年 火葬場が不足

2040 年 自治体の半数が消滅

2042 年 高齢者人口がピークを迎える

が確実視され、高齢者の高齢化や少子高齢化で灯油難民続出することまで予想される。

2017 年の人口動態には出生数（過去最低）、死亡者数（戦後最多）、自然減（過去最大）、婚姻（戦後最小）と云った最低・最大などの言葉が並ぶようになった。

出産年齢の女性数（25 歳～39 歳の女性数）は

2015 年 1087 万人 （100%）

2040 年 814 万人 （75%）

2065 年 612 万人 （56%）

となり 次の世代を産む女の人の減少により出生数の大幅回復は望み薄である。

65 歳以上の高齢者は増え続け 2042 年にピークを迎えその後は減少に転ずる、64 歳以下も急激に人口減少が続き 2115 年の総人口は 5056 万人になると予想される。

2040 問題（2042 年） 7 人に 1 人が 80 歳越え、女性は 4 人に 1 人となる。

また、女性の高齢者も増える、低年金・無年金者が激増する、すなわち老後の生活費を貯めきれずに高齢化し税金では賄えない事態となる。

医師の高齢化により地域医療が成り立たなくなり、ドライバー不足で物流が麻痺する。

財源は減り、住民の点在でコストが増える。

労働者の不足

① 外国人労働者の受け入れ→周りの国も少子高齢化する→外国人も東京への一極集中

② AI・ロボット化→すべてはうまくいかない

③ 高齢者の社会参加

④ 女性の活躍推進→これらは重要だが切り札にはならない

次の選択枝

小さくとも豊かな国へ

・24時間社会からの脱却 ・国際分業の徹底 ・非居住エリアを明確化
大都市集中型から古典型国家へ、激減地区は撤退戦を行うべきかも。

感想

現在の人口ピラミッドグラフを見ても壺型になっており今後逆三角形になることは目に見えている、近い将来に未来の年表に書かれた事態は必ずやってくると考えねばならない。

特に地方においては子供を産める女性の数が大学進学等で都会に集中して激減するので少子化に歯止めがかからない状態になりうるであろう。

少子化問題は大変難しいことでありなにか増加の方策があったとしても現在の水準に回復させるためには100年はかかると思う。

自治体振興セミナー受講報告書

題名 人口減少時代の地域づくりと自治体間連携
報告者 折笠 正 (新政会)
講師 首都大学東京 法学部教授 大杉 寛
日時 2018年7月12日
場所 長野市ホフ文化ホール

◎地域づくりで自治体に求められることは国が打ち出した地方創生を、自治体政策の方向づけられた自治行政による地域創生として展開することが重要である。又、自治体間連携による地域づくりかという点

- 地方分権改革により、自主・自立した自治体だからこそその連携が可能な条件整備
- 平成の市町村合併の終結
- 自治体行革と経営感の転換
- 都市圏圏人の注目

である。そして今後予想される県・市町村関係の新局面は

- 基礎的自治体における自治行政の再定義
- 連携による県の補完・広域機能の逆補完の意義
- 同心円構造を越境する新たな府政府間関係の形成で、特に遠隔型連携の意義、期待と既存システムとの関係再考

◎感想として自治体間連携により自治体の自主性、自律性が制約されないかとか連携のメリットを考慮してプラス効果が認められるかを検討することが重要であると共に連携あきでは無く、あくまでも自治体連携は選択的ツールの一つであるという事を認識しました。

報告者 新政会 渡部 龍治

松本市は平成 21 年 4 月に松本市議会基本条例を策定し、議会活性化を進めている。郡山市にとっては先進都市と言っていいだろう。今郡山市も議会改革特別委員会を組織し、議会改革にあたっているが、郡山市は平成 26 年にも同じような事を行っている。しかし、一向に昔の体制のまま、変わっていないのが現状である。

正直、議論を何度繰り返しても行動しなければ、一ミリも意味がないと考える。今後の議会改革特別委員会の進め方に期待も込めて、苦言を入れてみた。

松本市議会は議会基本条例施策推進組織として、三つの部会を立ち上げた。政策部会・広報部会・交流部会である。

各部会の役割は文字通りで、部会内で検討議論されたことを、議会運営委員会に上げ、具体的政策の策定・進行の管理をしている。面白いところは、この部会の他に、4 つの常任委員会もあり、その常任委員会の中でもテーマを設定して各種政策提案・政策提言を行うところだ。そして各常任委員会の研究結果を「松本市議会政策検討会」(全議員)で議論し、議会運営委員会から本議会を通し、議会案として市長に直接政策提言されている。この研究段階では、専門家・市民・関係団体が議員と共に研究検討を行っている。ここは注目に値する。

今後の郡山市議会でも請願だけにとどまらず、市民を交えた政策提言案を構築する必要があると考える。市民の意向が直接入った議会提案であれば、市長も議会軽視をするわけにはいかなくなるだろう。

松本市長は、この議会提言に対する対応方針を文書で回答している。非常に真摯的な対応である。

松本市議会では、市民との交流・意見交換だけでなく、学生を交えた意見交換を行っている。高校生からの提言は議会人にとっても、新鮮であり若年層からの政治への関心を深める意味でも、是非とも郡山市でも行うべき事業だと考える。

*今回の視察で感じた事は、いかにして行動するか?に尽きる。仕組みをいくら構築しても、行動が伴わなければ、仏作って魂入れずの言葉どおりである。松本市議会は、行動に移している。トライアンドエラーはつきものだろうが、市民の考えや意識が議会の中にも浸透して、これからの未来を作るための、生きた議会運営を行っていると感じた。テクニカルな問題はどこにでも存在するものであり、解決するために、行政当局も行動しなければ、議会改革とは名ばかりのものになりかねない。平成 26 年の反省も含め今後の活動の糧になった。

以上。

平成 30 年度

自 治 振 興 セ ミ ナ ー

平成 30 年 7 月 12 日

長 野 県

一般財団法人 地方自治研究機構

郡山市議会 会派「新政会」様 行政視察

ようこそ



- 視察日時 平成30年7月13日(金) 午前9時30分
- 視察会場 第1委員会室

《 本日の次第 》

- 1 歓迎あいさつ(議会運営委員会 委員長 柿澤 潔)
- 2 郡山市議会 会派「新政会」様からのごあいさつ
- 3 調査事項の説明
議会改革の取組みについて
- 4 閉会

.....
松本市出席者

議会運営委員会委員長 柿澤 潔
議会運営委員会副委員長 小林 あや
議会事務局 次長 逸見 和行
議会事務局 主査 中田 雅基

松本市議会基本条例による 議会改革の取組み

郡山市議会 会派「新政会」様 行政視察
日時 30. 7. 13 (金) 午前9時30分
場所 松本市役所東庁舎第1委員会室

2

議会活性化の取組経過

- H19. 8 議会ステップアップ検討委員会を設置し、議会基本条例の制定等議
会改革の検討 (～21. 4. 30) 41回会議
- 12 松本市行政チャンネルによる本会議生中継の開始
20. 2 議会情報閲覧制度を創設 (委員協議会会議録、行政視察報告書、政
務調査費収支報告書等について、情報公開制度とは別の利用しやすい
閲覧制度を開始)
21. 3 松本市議会基本条例を制定 (21. 4. 1施行)
- 4 議会基本条例施策推進組織を設置
- 12 各種団体との意見交換会及び議会報告会の開催を決定
22. 2 議員研修会 (議会活動の充実を図るために議員が企画する年2回の
定期研修会) の実施を決定

○松本市議会 政策提言

年度	総務委員会	教育民生委員会	経済地域委員会	建設環境委員会
22	入札・契約制度に関する提言書	公立病院のあり方・運営等に関する提言書	ごみ減量に係る提言書	「ゾーン30の取組みについて」提言書
23		通学区の弾力化に関する提言書	自然エネルギーの活用に関する提言書	
24	まつもと情報創造館の今後のあり方に関する提言書	発達障がい療育支援施策の充実に関する提言書	松本市の6次産業化の支援のあり方提言書	社会インフラの長寿命化対策に関する提言書
25	ふるさと寄付金の今後のあり方に関する提言書	保健所行政に関する提言書	高齢者が農作業を支援する仕組みづくりに関する提言書	道路の安全・安心対策に関する提言書
26	ペーパーレス会議の導入に関する提言書	歯科口腔衛生に関する提言書	四賀有機センターのあり方に関する提言書	自転車にやさしいまちづくりに関する提言書
27			松本城下町モール構想に関する提言書	
28	災害時の対応策に関する提言書		更なる観光施策の充実に向けた提言書	松本市環境フェア(仮称)開催に関する提言書
29	信州まつもと空港の発展・国際化に関する提言書		農業分野における温暖化対策に関する提言書	法定外公共物(里道・水路等)の維持管理に関する提言書

○松本市議会 調査・研究結果報告書

年度	総務委員会	教育民生委員会	経済地域委員会	建設環境委員会
22		「松本市のスケート文化の継承について」調査研究結果報告書		「上高地登山鉄道について」調査研究報告書
23		「高齢者介護の問題について」調査研究報告書	「松本B級グルメの創造」調査研究報告書	「松本市の交通のあり方について」調査研究報告書
27	スポーツを通じた地域振興に関する報告書	性同一性障害への取り組みに関する報告書		再生可能エネルギーに関する報告書
28		医療費の適正化に向けた取り組みに関する報告書		
29		地域包括ケアシステムに関する報告書		

だより

市議会ってなに？議員の仕事って？ みんなの知らないこと教えちゃいます！



松本市マスコットキャラクター「アルプちゃん」▶

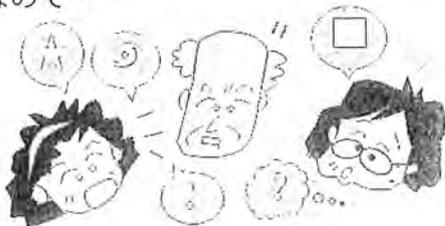
みんなは毎日の生活の中で水道の水で手や顔を洗ったり、道路を歩いて学校へ行って勉強したり、公園で遊んだり、図書館に行って本を読んだりしているよね。



この水道や道路、学校、公園、図書館などをつくったり管理したりするのは「松本市」の仕事で、どれもみんなの生活にとって大切なことばかりなんだ。



本当はみんなで話し合っ、つくり方や使い方を決められるといいんだけど、それはとても大変なことなので…



選挙で選ばれたわたしたちの代表＝「議員」がみんなの代わりに話し合いをして決めているんだ。これが市議会なんだよ。



? 議員って何をしているの？

- ①市の仕事が正しく行われているかチェックし、
ひょうか 評価します。
- ②市の提案を審査し、議員からも
ていあん 提案します。
- ③市の仕事について市民に説明し、
参加も進めます。
- ④市民の意見をよく聞いて、
議会に反映します。



? 議員は何人いるの？

松本市には31人の議員がいるよ。



女性は8人



男性は23人

市議会議員選挙に立候補できるのは
りっこうほ 25歳以上の市民だよ。



松本市議会議員

柿澤 潔

〒390-0221 長野県松本市里山辺1787-2

TEL (0263) 32-6911 FAX (0263) 32-6912

携帯

mail



松本市議会議員

篠原 亜也

小林 あや

〒390-1401

長野県松本市波田4417-188-1F

TEL 0263-92-6240

FAX 026-403-4882

E-mail

Blog: <http://kobayashinaya.naganoblog.jp>



2018/7/13 松本市役所

会派名

新政会

支出調書

代表者

経理責任者

起案者



共通

区分		事由	費目金額				小計		
1	調査研究費		交通費		旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費	平成30年8月4・5日開催(福岡市)、地方議員研究会主催研修会受講料	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	180,000	
			交通費		旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		食糧費		振込料	864	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
			振込料						
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		振込料				
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		振込料				
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
			振込料						
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
			雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
			印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)		
			その他						
使用者	共通	Ⓢ 支出年月日	30年	7月	10日	現金出納簿 支出番号	12	合計	180,864 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 12

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	平成30年8月4、5日 地方議員研究会主催研修会（福岡市）受講料				
内 容	平成30年8月4日 「そんなに難しくない人口減少対策」（14:00～16:30） 平成30年8月5日 「議会改革の論点整理」（10:00～12:30） 「議員提案政策条例を進めるコツ」（14:00～16:30） （受講料 1講座 15,000円×3講座×4名=180,000円）				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
H30年 7月 10日	(社) 地方議員研究会		180,000円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共通 ㊦					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙添付書類参照

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

30年7月10日

お振込先 金融機関名(漢字)を左つめてご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)										銀行名(漢字)を左つめてご記入ください										支店 出店所	
東邦銀行あての振込 <input type="checkbox"/> 東邦銀行										銀行以外の場合は○をお付けください 第 <input type="checkbox"/> 号 <input type="checkbox"/> 番 <input type="checkbox"/> 路 <input type="checkbox"/> 局 <input type="checkbox"/> 支 <input type="checkbox"/> 店 <input type="checkbox"/> 支 <input type="checkbox"/> 店 <input type="checkbox"/> 支 <input type="checkbox"/> 店										ご記入にあたってのお願い ■ 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 ■ 金額の先頭に半マークをご記入ください。 ■ 濁点(・)、半濁点(゜)も一マスを使用してご記入ください。	
預金種目 該当科目におお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他 <input type="checkbox"/> 口座番号										左つめてご記入ください 7520919										金額 千 百 十 万 千 百 十 円 4360000	
カタカナ (シヤ)キホウキ"インケン"ニヨウカ イ										カタカナ コトリアマニヨ"カイ"シンセイカイ										消込振込手数料 円 568	
おなまえ(漢字) ●(社)地議議員研究会										おなまえ(漢字) 郡山市議会 新政会										様	
おところ 郡山市朝日-丁目2番7号										日中ご連絡可能な電話番号 [REDACTED]										様	

()振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
()やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行



収入印紙
1. 振込金受取書の場合、振込金+手数料5万円以上の場合は200円貼付
2. 振込金受付書の場合不要
3. 当店の本人口座への入金時は200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

※ 4名 キャンセル

- 橋本 幸一
- 遠藤 敏郎
- 石川 義和
- 廣田 耕一

受講料(3講座分)
45,000円 × 8名分 - 45,000円 × 4名分 = 180,000円

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

新政会 栗原晃 様 20年 7月 10日

★ ￥45,000

但 8/4.5「人口減少時代における地域政策 in 博多」
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

新政会 折笠正 様 20年 7月 10日

★ ￥45,000

但 8/4.5「人口減少時代における地域政策 in 博多」
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

領 収 書 等 整 理 票

区		分		※該当する区分に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

新政会 會田一男 様 30年 7月 10日

★ ￥45,000

但 8/4.5「人口減少時代における地域政策 in 博多」
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

新政会 渡部龍治 様 30年 7月 10日

★ ￥45,000

但 8/4.5「人口減少時代における地域政策 in 博多」
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

人口減少時代における 地域政策

in
博多



【講師紹介】

まきせ みのる 関東学院大学
法学部地域創生学科
准教授
牧瀬 稔

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。博士（人間福祉・法政大学）。博士論文は「地方自治体における環境協働の研究—環境再生行動を通じた自治体と住民の新たな協力関係—」というテーマで作成した。民間企業、横須賀市都市政策研究所、(財)日本都市センター研究室、(一財)地域開発研究所を経て、現在、関東学院大学法学部地域創生学科（准教授）に勤務している。法政大学大学院公共政策研究科兼任講師等を兼ねる。今年度は、戸田市政策研究所政策形成アドバイザー、新宿区新宿自治創造研究所政策形成アドバイザー、かすかべ未来研究所政策形成アドバイザー、東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略アドバイザー、羽村市魅力創出支援アドバイザー、豊屋川市シティプロモーション戦略策定アドバイザーなども担当している。また、加西市元氣なまちづくり市民会議委員（会長）、逗子市市民参加制度審査委員会、三芳町行政改革懇談会会議委員、厚生労働省「多様な社会資源を活かした「地域包括ケア推進」環境づくりに関する調査研究会」委員、スポーツ庁技術審査委員会委員をはじめ、厚木市、鎌倉市などの審査委員会に就いている。著作に、「[型]からスラスラ書ける あなたのまちの政策条例」（2017年、第一法規）、「自治体シンクタンクの理論と実践」（2017年、時事通信社）、「地方議員が聞く「政策の窓」—地方議員への政策アイデア12—」（2016年、中央文化社）等多数ある。

8月4日(土)

10:00～12:30

効果のあがるプロモーションと 効果のあがらないプロモーション

- ・シティプロモーションをどう捉えるか
- ・ブランド→プロモーションの原則
- ・未来を構築するシティプロモーション 等

14:00～16:30

そんなに難しくない 人口減少対策

- ・成功している人口減少対策の共通点
- ・人口減少対策を確実に進める視点
- ・地方創生の展望 等

8月5日(日)

10:00～12:30

議会改革の 論点整理

- ・地方議会の役割を考える
- ・議会改革を捉える視点
- ・議政会基本条例の現状と展望 等

14:00～16:30

議員提案政策条例を 進めるコツ

- ・政策づくりのポイント
- ・定住促進、交流拡大、安全安心等の条例紹介
- ・実効性を高める議員提案政策条例 等

支出明細書兼支出証明書

支出番号 12

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 ※該当する支出費目を記入	
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費			
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）					
支出目的 （支出事由）	平成 30 年 8 月 4、5 日 地方議員研究会主催研修会（福岡市）受講料の振込料					
内 容	平成 30 年 8 月 4 日 「そんなに難しくない人口減少対策」（14：00～16：30） 平成 30 年 8 月 5 日 「議会改革の論点整理」（10：00～12：30） 「議員提案政策条例を進めるコツ」（14：00～16：30） 受講料の振込料 864 円					
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額			
H30 年 7 月 10 日	（株）東邦銀行		864 円			
上記のとおり支出します。						
				議員氏名	共通	㊟

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙添付書類参照

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

- 振込金受取書(兼手数料受取書)
 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご振込日 30年7月10日

金融機関名(漢字)をきづめてご記入ください(原簿発行の場合記入不要) 支店名(漢字)をきづめてご記入ください

お振込先 銀行 楽天 第二営業 出張店

東邦銀行への振込 銀行以外の場合は○でお付けください

東邦銀行

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)もマスを使用してご記入ください。

預金種目 該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 3.貯蓄 4.その他

口座番号 7520919

金額 千円 百円 万円 十円 円

360000

カタカナ (シヤ)イホウキョウインケンチュウカ
イ

おなまえ(漢字) (社)地議委員研究会 様

カタカナ コノリヤマニキョウカイインセイカイ

おなまえ(漢字) 郡山市議会新政会 様

おところ 郡山市朝日-月2番号

消印振込手数料 円 868

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
 やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行

出納 30.7.10 東邦銀行 郡山市校派支店

収入印紙

1. 振込金額及び印紙 振込金+手数料(5万円)以上の場合は200円相当
2. 西の金額の印紙(1円)
3. 当店の主人(印へ)の印は200円相当

当行をご利用いただきましてありがとうございます

※ 4名 キャンセル

橋本 幸一
遠藤 敏郎
石川 義和
廣田 耕一

受講料(3講座分)

$$45,000 \times 8 \text{名分} - 45,000 \text{円} \times 4 \text{名分} = 180,000 \text{円}$$

会派名

新政会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分		事由	費目金額				小計	
1	調査研究費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費	平成30年7月23日 仙台市 TKP 仙台カンファレンスセンター（地方議員研究会、立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性セミナー）旅費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	99,120
			交通費		旅費	99,120	自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		広報誌（紙）		報告書等印刷費	
			送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料					
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞（日刊紙）購読料	
			雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等（按分）		郵便料等		自動車燃料費（按分）	
			その他					
使用者		共通	ⓐ 支出年月日	H30年 7月 17日	現金出納簿 支出番号	13	合計	99,120 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 13

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 橋本幸一



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	99,120円（1人あたり 14,160円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	平成30年7月23日 地方議員研究会、立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性セミナー 参加の為。	
用務先	平成30年7月23日 TKP 仙台カンファレンスセンター	
内容	平成30年7月23日 立地適正化計画について 10:00~12:30 地域公共交通網形成計画について 14:00~16:30 講師：井原雄人氏	
期間	平成30年 7月 23日 ~ 平成30年 7月 23日（泊1日）	
行程	別紙行政調査行程表の通り	
出張(調査等)者氏名	・橋本幸一（代表者）	・栗原晃
	・石川義和	・折笠正
	・廣田耕一	・會田一男
		・渡部龍治
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	平成30年 7月 17日
			許可日	平成30年 7月 17日
			支出日	平成30年 7月 17日

上記金額を受領しました。

平成30年 7月 17日

申請代表者氏名

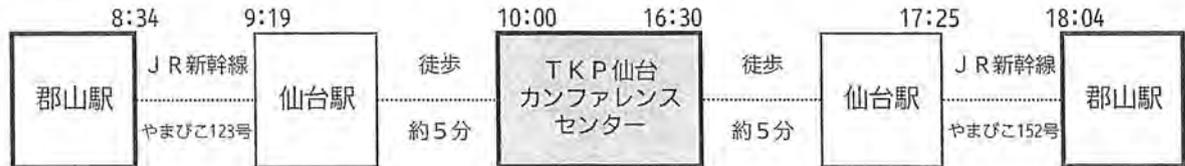
橋本幸一



平成30年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年7月23日(月)



2 人員 7名

橋本 幸一議員 (会長)
石川 義和議員
廣田 耕一議員
栗原 晃議員
會田 一男議員
渡部 龍治議員
折笠 正議員

3 調査内容

【地方議員研究会】

立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性セミナー

平成30年7月23日(月)

○立地適正化計画について 10:00~12:30

○地域公共交通網形成計画について 14:00~16:30

講師：井原 雄人氏

【早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所 客員主任研究員】

4 事務局連絡先・会場

- 【会場】TKP仙台カンファレンスセンター
(宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3
ソララガーデン・オフィス内)
- 【事務局】地方議員研究会
電話06-7878-6297

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 新政会

参加議員 : 橋本 幸一、石川 義和、廣田 耕一、栗原 晃、會田 一男、
渡部 龍治、折笠 正

日 程 : 平成30年7月23日 (月)

行 先 : TKP仙台カンファレンスセンター (宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3ソララガーデン・オフィス内)

7月23日	郡	仙	郡						
	山	台	山						
	(新幹線)	(新幹線)							
	125.1	125.1							
	駅	駅	駅						
運賃	2,270	2,270							4,540
急行料金	3,310	3,310							6,620
グリーン									0
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

交通費	11,160		11,160	
日 当	3,000 ×	1日 =	3,000	
宿泊費	14,800 ×	泊 =	0	
合 計			14,160円	× 7人 = <u>99,120円</u>

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 13

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・橋本幸一（代表者）		・栗原晃	
・石川義和		・折笠正	
・廣田耕一		・會田一男	
・		・渡部龍治	

記

期 間	H30年 7月 23日 ~ H30年 7月 23日（泊 1日）					
目 的	平成30年7月23日 地方議員研究会、立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性セミナー 参加の為。					
用 務 先	平成30年7月23日 TKP 仙台カンファレンスセンター。					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	平成30年7月23日 立地適正化計画について 10:00~12:30。					
	地域公共交通網形成計画について 14:00~16:30。 講師：井原雄人氏					
旅費精算	受領額	99,120円	精算額	99,120円	返納額	0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会派会長	経理責任者			受 理 日	H30年 7月 24日
				確 認 日	H30年 7月 24日
				精 算 日	H30年 7月 24日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成30年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年7月23日(月)



2 人員 7名

橋本 幸一議員 (会長)
石川 義和議員
廣田 耕一議員
栗原 晃議員
會田 一男議員
渡部 龍治議員
折笠 正議員

3 調査内容

【地方議員研究会】

立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性セミナー

平成30年7月23日(月)

- 立地適正化計画について 10:00~12:30
- 地域公共交通網形成計画について 14:00~16:30

講師：井原 雄人氏

【早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所 客員主任研究員】

4 事務局連絡先・会場

- 【会場】TKP仙台カンファレンスセンター
(宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3
ソララガーデン・オフィス内)
- 【事務局】地方議員研究会
電話06-7878-6297

行政調査旅費計算書

会 派 名：新国会

参加議員：橋本 幸一、石川 義和、廣田 耕一、栗原 晃、會田 一男、
渡部 龍治、折笠 正

日 程：平成30年7月23日（月）

行 先：TKP仙台カンファレンスセンター（宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3ソララガーデン・オフィス内）

7月23日	郡	仙	郡						
	山	台	山						
	(新幹線)	(新幹線)							
	125.1	125.1							
	駅	駅	駅						
運賃	2,270	2,270							4,540
急行料金	3,310	3,310							6,620
グリーン									0
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

交通費	11,160		11,160	
日 当	3,000 ×	1日 =	3,000	
宿泊費	14,800 ×	泊 =	0	
合 計			14,160円	× 7人 = <u>99,120円</u>

講師 早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所研究院客員准教授
井原 雄人氏

報告者 新政会 渡部 龍治

日本再興戦略（平成26年6月24日閣議決定）

都市の競争力の向上に関して、都市再施特別措置法等及び地域公共交通活性化再生法が成立し、これらの法律に基づくリッチ適正化計画及び地域公共交通網形成計画を作成する地方公共団体を総合的に支援する体制を構築。コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成を推進し始めた。

これは、東京一極集中に歯止めをかけ、地方都市機能や産業・雇用を守る目的で定めたものと言い換えることが出来る。

では郡山市の現状はどうだろうか？郡山市は立地適正化計画は出来ている。しかし、公共交通に関しては、まだ実施計画に至っていない。

ここで、コンパクトシティについて考える。コンパクトシティの誤解に、街中にすべての居住エリアや生活環境を集約する、と考える人が多い。しかし、実際には地域ニーズに合わせた生活拠点、公共サービスなどを各地域の人口密度を踏まえ、構成しそれを多極化敵ネットワークでつないで行く事にある。講師の説明の中に、持続可能な都市経営が重要であり、それを環境・防災・医療・福祉・子育てなど限られた資源の集中・集約による効率的な社会の実現が必要と言っていたが、まさにその通りだと思う。郡山市は、面積が広く、構成する行政センターも多い。今更、郡山市の駅前に都市機能を集約しようとしても、地域の平均的な発展にはそぐわないのかもしれない。しかし、社人研の数値にもある通り、日本の人口は減っていく。これは誰も止められないし、今後超後期高齢社会、労働人口の減少等、将来に対して、希望的要素は多くみられない。今回の研修で、感じた事は究極のネガティブ思考を積み上げて、最悪の未来から少しでも遠ざかる手段をいち早く導くことにあると思った。

コンパクトシティの概念が街を小さくすることで無いにせよ、広がり続けるインフラをどこで止めて、将来の子供たちにつけを残さないようにするかを、今真剣に議論すべきだと考える。

先進都市は拠点としての都市機能集約を行っている。公共交通はもとより、土地の利活用をはじめ、都市計画を見直しおおむね20年後の都市の姿を展望し、人口の推移・財政収支の観点からも考えている。一定の人口を維持するために何が必要か？周囲の地域状況も考えておかなければならない。

都市計画法や立地適正化計画が重要であることは理解できるが、郡山市の都市計画は昭和42年当時のまま残っているものが多く、市街化区域の考え方も見直していない。実際今の状況で（経済状況・社会状況）昔の計画を残し、押し進める事は不可能だろう。

郡山市駅前開発事業も、道路を通す計画はあっても、その後の未来像がない。ここに多くの税金を投入するには、それなりの未来像を市民に示すべきと考える。立地適正化計画が、郡山市民に有益な計画であることは間違いないが、実行していかなければ、絵に描いた餅になってしまう。

公的不動産（PRE）も統廃合を進め、行政のスリム化を図る必要がある。景気が悪くなってからでは、不動産価値は下がる。その前に民間機能を組み入れた新たな枠組みの計画も必要になると考えられることから、公共施設等総合管理計画との整合性も考えていかなければならないことは、承知の上での意見ではあるが。

将来の郡山市像をぼんやりさせることなく、明確な計画があつてこそその人口維持であり都市形成ではないだろうか？と考えさせられたセミナーだった。

以上。

立地適正化計画について

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所 研究院 客員准教授
井原 雄人

地域公共交通網形成計画について

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所 研究院 客員准教授
井原 雄人